

- ワーク・ライフ・バランス企業紹介
- 介護制度《老いを考える》行って・聞いて・話してミテ!
- かがやくひと
- マイナンバー制度

- 女性活躍推進法が成立しました
- 編集後記
- インフォメーション

かがやけ地球



藤 沢 市



企業紹介

ワーク・ライフ・バランス(WLB)は、直訳すると「仕事と生活の調和」です。藤沢市では2012年に「ふじさわワーク・ライフ・バランス宣言」をし、「いきいき働ける藤沢」のまちづくりを進めています。今回、WLBに積極的に取り組んでいる会社を訪問しました。

「仲間を徹底的に思いやる」ことが生む、働きやすさ 株式会社 湘南ビジネスマネジメント



設立:2012年10月
所在地:南藤沢17-15-3F
事業内容:マネジメントのサポート、
会計・労務のアウトソーシング
HP <http://www.shonanbm.co.jp/>



代表取締役
野田 周吾さん

藤沢駅南口から徒歩5分ほどのところにあるビルの3階に「株式会社 湘南ビジネスマネジメント」はあります。社員は女性9人、男性4人の職場です。共働きが多く、小さい子どもがいる社員が半数近くという環境の中で、子連れ勤務や在宅勤務もOK。家庭や育児の事情で一日フルタイムで働くことは難しい社員も、短時間勤務やパートなど柔軟な働き方をしています。日頃から子どもが来ているという明るいオフィスには、子どもの布団も用意されています。最初からこのような働きやすいシステムがあったわけではなく、夢や志がありながらも、いろいろな制約のある女性たちから上がってきた声を取り入れていくうちに、今のような労働環境が整っていきました。

代表取締役の野田周吾さんの経営理念は、「仲間を徹底的に思いやる」こと。困っている人がいたら、助ける気持ちを持って欲しいと思っています。社員みんなで仕事をシェアし、チームで仕事に取り組んでいます。業務の中心

はマネジメントの支援業務。お客様の多くは福祉関係の事業者(社会福祉法人、NPO法人など)です。会社経営の根本にあるのは、「人」。社員も十数年以上のつきあいがある人や信頼のおける人格者を集めました。家族あつての会社。社員自身が幸せであることが、お客様のためにという気持ちにつながっていくと野田さんは考えています。

去年2人目の出産で育児休業を取得し、この4月に復帰した近 康世こん やすよさんは、「声を上げやすい雰囲気があります。出産と育児でお休みしても、ここに戻ってきたいと思えました。この仕事が好きで、働き続けたい。それを受け止めてくれて、どうしたらできるか一緒に考えてもらえる職場です」といいます。

これからも多様なメンバーそれぞれが持つ「強み」を生かしながら、さらにチーム力を高めて、お客様や地域社会に貢献する会社であり続けたいというのが野田さんのビジョンです。

(有田 記)



社内の様子

行って・聞いて・話してミテ!



今年の夏は猛暑続き。熱中症で亡くなる人が多かった。〔東京都板橋区内の高齢3姉妹死亡、熱中症か〕の新聞記事に胸が痛んだ。82歳、86歳、90歳の姉妹はそれぞれの夫と死別後同居して10年ほど。仲の良い姉妹だったのである。死後3~4日経っていたそうだ。

1973年を福祉元年と宣言した当時の田中角栄総理大臣。あれから40年余。その成果はどこまで浸透しているのか。今後更に急進する高齢化社会。高齢者のみならず一緒に暮らす家族、近隣の人達が安心して暮らせる地域社会とは?どうあれば良いのだろう。

藤沢市のホームページによれば、2015年7月1日現在、424,727人の人口のうち、65歳以上が97,847人(23.04%)、そのうち独り暮らし12,093人、同居高齢者85,754人。この8万人強の同居高齢者には、寝たきりや要介護の高齢者が含まれている。

高齢者を支えている家族の負担軽減は?家族が日中就労でいない間の食事は?トイレは?体調は?不安な材料が山積みだと思う。日中の高齢者や要介護の親を気遣いながらの就労だ。現役世代の負担は経済的に精神的負担が重い。

人は誰でも食が満たされると温和になると言う。宅配弁当広告が異業種を超えて連日ポストに投げ込まれる。耳触りの良い宣伝文句をどこまで信じて良いのか迷う。

過日、保健所で「高齢者のための安心べんり帳」を目にし、高齢者支援課を訪ねた。藤沢市役所新館1階にある同課は、昼休み中とあってか静かだった。職員のお二人に、高齢者向けサービスが記載されている冊子の頁をめくりながら解説を受け、一つの光明を得た。市の給食サービスだ。**食事の確保が難しい方を対象に温かい食事(昼食)を届けるとともに、安否確認を行う。また必要に応じて配膳を行う。**これなら、就労中の家族も安心。疲れて帰宅した家族におじいちゃん、おばあちゃんが笑顔で「お帰り」「今日のお弁当美味しかった?」と家族。はずむ会話が双方の癒しとならないだろうか。職員の方はさらに言葉を続ける。「給食サービスの利用をキッカケに、困っていることを何でも相談して欲しい」。そう、安心して市民が市のサービスを受けるのだ。手続きには条件もあるだろうが、まずは高齢者支援課窓口へ《行って・聞いて・話してミテ!》

かがやく ひと

藤沢市在住のヴァイオリニスト田遠 彩子さん

ホテルなど様々な場でのコンサート出演、地域での室内楽コンサート開催、ハワイアンミュージシャンとのライブ共演&CD録音、演劇舞台、オーケストラのコンサートマスターなど幅広い活躍をされています。

プライベートでは3人のお子さんの母(小学生と幼稚園児の双子)。その忙しさは想像に難くありませんが、とにかく明るい笑顔が印象的。心地よく軽やかな語り口の奥に大きな熱量を秘めた「かがやくひと」に、仕事と生活についてのお話を聞きました。(鈴木・事務局 取材)



でん どう あや こ 田遠 彩子さん

4歳から始めたヴァイオリンから離れた時期がある。一度目は音楽高校受験の前。弾く意味を見出せなくなり、英語科の高校および大学に進学。留学先で聴いた演奏会をきっかけに再開。二度目は双子出産後。育児疲れと体調の悪さから楽器を触る気力も無く、人前で演奏することはもうないと思っていたが、心身共につらい時に聴いた音楽が心を癒してくれ、音楽の持つ力を身をもって知り、また対峙してみたいと思った。以来、3人の子育てと演奏活動の中で、「感性は日常の中で磨くもの」という今も師事する恩師の教えを励みに弾き続けている。

双子が2歳の時、演劇の舞台でヴァイオリンを弾く役の話をしていただいた。稽古と本番の2カ月、穴を空けられない舞台公演の仕事を全うできるか悩んだが、挑戦してみたい思いから双子の預け先の確保に奔走し、新しい世界に飛び込んだ。幸いファミリーサポートセンターやご近所の助けに支えられ、千秋楽を無事に迎えた。親が無我夢中で取り組む背中子どもも見ており、小学生の娘は「ママ、舞台本番頑張ってるね!」と手紙をくれた。親子共々、得難い経験と自信を得た。

子育てや演奏活動でたくさんの出会いがあり、彼らの前向きに真摯に取り組む姿勢から生きる力をもらっている。10年以上出演してきたホテルのコンサートでは、スタッフや共演者が変化していく環境をサポートしてくれた。子連れでレッスンにも通った。しかし、自分が学ぶより子どもの教育を優先し、疲れて子どもと一緒に寝てしまい、練習できなかった自分がかかりするなど、子どもが生まれてから自己研鑽が中途半端になりがちなこと悩んできた。

子どもが通う幼稚園で演奏した時のこと。あるお母さんが「音楽はよくわからないけれど、聴いていたらなぜか涙が止まらなくなって…」と自分の目の前でこみ上げる様子に、確信を持った。自分と同様、さまざまな思いを抱えた方々が客席にいる。年配の方から震える文字で「心の奥底にまで音が響きま

した」と手紙をいただいたこともあった。弾き続ける意味を問うより、今置かれている場所で精一杯自分ができることを探してみよう、と思った。幼稚園バザーコンサートや藤沢市役所ロビーコンサートでは、普段お世話になっている地域の方々の温かいまなざしを感じながら演奏した。ささやかな恩返しができたら、と機会をいただくたびに感謝するばかりだ。

心の琴線に触れる音には、奏でる人の人生が感じられる。小さい頃から好きだった師匠の音色に導かれてきた。きれいだと感じていた音は、実は「雑音」なのだを教えていただいた。引き出しをたくさん持った人が奏でられる、単色ではない音の色。曲の細部に捉われ全体が見えなくなった時には「夢、憧れの雰囲気や忘れないように」とも。「夢、憧れ」は、それが何なのか忘れてしまうほど埋もれそうな日常で、前に進む勇気を与えてくれるもの。「雑音」と共に楽譜に一番多く書き込まれている言葉である。子ども達はたやすく自分を超えていけよう。彼らの夢、憧れの後押しをしながら、自分の音を探したい。その音で人とのつながりができたら、楽器を弾き始めた子ども達とは室内楽ができれば、と夢は膨らむ。田舎で畑を耕しながら、演奏活動を続ける師匠ご夫妻の姿を追う。弦楽四重奏のレッスンで受けた、休符で聞こえるカエルの鳴き声も音楽に取り込んでみようとの教え、子ども達にも伝えてみたい。

音で会話する楽しさと音楽の懐の深さに惹かれ、音楽と共に今も歩む。高みを目指す厳しさと夢が、昨日より今日、少しずつ成長してみようという思いを後押ししてくれている。



3人のお子さん

マイナンバー制度

平成28年1月からマイナンバー制度が開始されるにあたり、平成27年10月から、国民ひとりひとりに、12桁のマイナンバー（個人番号）が簡易書留で通知されます。それは、各市町村から、住民票の住所に通知カードが送付されるものです。

通知カードを受け取り、同封の申請書を郵送するなどにより、個人番号カードが交付されます。

そして、この個人番号カードで平成28年1月から、社会保障・税・災害対策において法令で定められた行政手続きに利用することができます。それは、例えば、年金・雇用保険・医療保険の手続き・生活保護や福祉の給付・確定申告などの税の手続きなど、法律で定められた事務手続きに限ります。

（甘粕 記）

女性活躍推進法が成立しました

平成27年8月28日、女性活躍推進法（女性の職業生活における活躍の推進に関する法律）が成立しました。

この法律は、自らの意思によって職業生活を営み、又は営もうとする女性が個性と能力を十分に発揮するため、女性の職業生活における活躍を推進し、豊かで活力ある社会の実現を図ることを目的としています。

女性活躍推進法に明記されている基本原則は、以下のとおりです。

- 女性に対する採用、昇進等の機会の積極的な提供及びその活用と、性別による固定的役割分担等を反映した職場慣行が及ぼす影響への配慮が行われること
- 職業生活と家庭生活との両立を図るために必要な環境の整備により、職業生活と家庭生活との円滑かつ継続的な両立を可能にすること
- 女性の職業生活と家庭生活との両立に関し、本人の意思が尊重されるべきこと

詳しくは、「内閣府 男女共同参画局」のホームページなどをご覧ください。

- 《空蝉を宴と蟻ら命継なぐ》 猛暑、炎暑の中で遅い食欲に足が止まった。(山口)
- お盆は忙しい。迎え火、送り火、お施餓鬼、ご先祖様たちとお話。おじいちゃん、ひ孫が生まれるよ。(甘粕)
- ああ今年もビーサン焼け。もどりが年々悪くなり嘆息・・・悲シミ!(鈴木)
- 戦後70周年。黙禱の放送を聞き、祈る。人権も男女平等も何もかも平和あってこそ。(有田)



インフォメーション

2市1町(藤沢市・茅ヶ崎市・寒川町)広域連携事業 共に生きるフォーラムふじさわ2015

講演テーマ・内容

**私たちはどうやって
働き方を変えたのか
～家庭・地域で活躍する男たち～**

とき 11月29日(日)
午後2時～4時(開場午後1時30分)

ところ 湘南NDビル6階
6-1会議室(藤沢市藤沢109番地6)

定員 100名(申し込み順・無料)
※手話通訳あり・託児(2歳以上の未就学児)あり 先着6名

申し込み・問い合わせ

電話または、藤沢市ホームページ電子申請予約、ファクス、Eメールに住所・氏名(ふりがな)・電話番号・託児希望の有無(希望する場合は11月19日(木)までにお子さまの名前(ふりがな)・年齢・性別)、講師に聞いてみたいこと(任意)を書いて人権男女共同参画課へ。

FAX:0466-24-5928 人権男女共同参画課 宛

講師

あおの よしひさ
青野 慶久さん
サイボウズ株式会社代表取締役社長



かわしま たかゆき
川島 高之さん
NPO法人コヂカラ・ニッポン 代表
NPO法人ファザーリング・ジャパン理事



コーディネーター

ゆい ふみえ
油井 文江さん
マーケティングコンサルタント/中小企業診断士



本紙で記事を書いてみませんか? 「かがやけ地球」 編集員を募集します!

活動内容 情報紙の企画・取材・資料収集・記事作成など

対象・人員 市内在住・在勤又は在学の2015年4月1日現在18歳以上の方、若干名(選考)

謝礼 1回発行ごとに7,000円(年4回発行予定)

申し込み・問い合わせ

任意の用紙に、①住所②氏名(フリガナ)③生年月日④性別⑤職業⑥電話番号⑦編集経験の有無⑧応募理由⑨男女共同参画社会実現への「教育」「労働」「社会参加」「福祉」「健康」のいずれかについての考え方(800字程度)を書いて、人権男女共同参画課へ郵送または持参ください。



藤沢・茅ヶ崎・寒川“湘南”がエリアのFM放送局



<http://www.radioshonan.co.jp>

STUDIO FAX No.0466-29-2121

かがやけ地球は、市民の編集員さんの
企画・運営によって、年4回発行しています。

編集
スタッフ 甘粕 保子・有田 留美子・
鈴木 悠子・山口 千鶴子

ご意見・ご感想・今後扱って欲しいテーマなどをお待ちしております!

FAX 0466-24-5928

E-mail jinkendanjyo@city.fujisawa.kanagawa.jp

古書・アウトレット本 買取と販売

買取 ご不要なもの、お売りください。※一部、買取れない品もあります。
買取品目 書籍・CD・DVD・ゲームソフトなど
お売りいただく際は身分証明書のご提示をお願いいたします。

お買得 稀少 アウトレット本と古書の販売 詳しくは下記ホームページで
発売後、読者の手に渡らず出版社に在庫されていた未読の本(アウトレット本)を旧定価の20～80%OFFで販売します。他に珍品や稀少本など古書も扱っています。

藤沢駅(南口)前・有隣堂藤沢店5階

リブックス藤沢店 (ReBOOKS)



☎0466-26-1411(有隣堂藤沢店代表番号) ●ホームページ <http://www.yurindo.co.jp/>

“藤沢で愛されて、おかげさまで50周年”

フジサワ名店ビル

営業時間:10時～21時 ☎0120-111-391 〒251-0055 藤沢市南藤沢2番1-1号 www.fujisawa-meiten.com

医療法人社団 藤順会

藤沢順天医院

神奈川県藤沢市鵜沼橋 1-17-11

Tel.0466-23-3211

人間ドック 定期健康診断

脳ドック 婦人科検診



<http://www.fujisawa-junten.or.jp>

天然ガスがひらく未来



次の世代の子どもたちのために、
いま、わたしたちが出来ること…
東京ガスは考えています。

天然ガスを使用した、効率的なエネルギーシステムの普及・拡大に努めています。また、環境にやさしい暮らしやエコライフの提唱など、環境コミュニケーション活動を推進しています。

<http://www.tokyo-gas.co.jp/>

TOKYO GAS